

【開催日時等】

- 日 時：平成30年6月14日（木）午後6：30～午後7：45
場 所：観光会館 中会議室
参加者数：35名
- 日 時：平成30年6月15日（金）午後6：30～午後7：15
場 所：鍛冶屋会館 大会議室
参加者数：12名
- 日 時：平成30年6月18日（月）午後6：30～午後7：30
場 所：福浦会館 大会議室
参加者数：13名

【会議次第】

- 1 開会
- 2 新たな公共交通システムの実証運行について
- 3 意見交換会
- 4 その他

【主な質疑・意見・要望等】 ※「→」は事務局の回答

○温泉場・オレンジラインエリア

- ・オレンジラインエリアに13個の乗降ポイントがあり広いため、2つのエリアに分けることができないか。
→1つのエリアに最大2台まで運行する計画です。実証運行の結果で再検討したい。
- ・ヘビーユーザーが多く予約してしまう可能性がある。何か対策をしてほしい。
→対策として、受付開始を当日とし、事前予約期間を無くし、多くの方が利用出来るようにしている。
- ・乗降ポイントは地図上の150mの円の中に設置するのか。
→ゴミステーションに設置します。150mの円は参考です。
- ・アーバンヴィラ付近は高低差もあり、若草山団地にはもう1か所乗降ポイントを追加してほしい。

- 要望とする。
- ・ 予約した際、満員で乗れない場合もカウントしないと実証運行として意味がない。
→乗車できなかった数も把握するようにする。
 - ・ 2台目をまわすということは、具体的にはどういった運行か。
→予約受付で5人目から2台目を充てる。
 - ・ 運行のルートは決まっているのか。
→予約状況により、運行事業者（運転手）に任せることになる。
 - ・ 目的地に到着するおおよその時間は分かるのか。
→予約状況によって変動する。
 - ・ 予約の際に時間等の情報は教えてもらえるのか。
→最後の予約を受けないと運行ルートが決まらないので難しい。
 - ・ 桜山に乗降ポイントがないので追加してほしい。
→要望とする。
 - ・ 乗り合いタクシーは湯河原では実施されていないが、湯河原ではタクシー会社が観光客を相手にしているので、検討していなかったのではないかと思う。運行事業者についてだが、経営者が同じで、暇な時間帯の穴埋めに見える。
→運行事業者から協力を得られる時間帯での運行としている。
 - ・ 長続きするかという点で、赤字補填などは考えているのか。
→料金面では事業者も一定の社会貢献をしていただき、町も補填する。
 - ・ 他の業者には声を掛けなかったのか。
→業者選定では、町内の全交通事業者へ意向確認を行い、2社から手が挙がった。その2社について、所有台数・提示金額などを比較し、湯河原町地域公共交通会議において決定したものです。
 - ・ ごくほんの少数を助けることは公共と言えないのではないかと。決まった

時間に決まった場所にバスが来るということではないか。

→交通不便地域では、定時定路線型のバス運行では課題が多いため、デマンド型交通とした。

- ・予約制であれば、乗降ポイントでなくとも、予約された方のご自宅まで行くことが出来ると思う。

→タクシーとは差別化を図る点から、乗降ポイントでの乗車はルールとしている。

- ・基本運賃は 400 円だが、4 人乗った場合は。

→1 人 300 円になる。

- ・偶然、同一のステーションから乗った人が知らない人でも 1 人 300 円が適用されるのか。

→その通り。

- ・免許証を返納した証明書はどこでもらえるのか。

→警察署になる。

- ・地図がわかりづらい、見やすいよう工夫をお願いしたい。

→次回、お示しする際は分かりやすいよう図にします。

- ・2 台目に乗れなかった場合はどうなるのか。

→申し訳ございませんが、お断りになる。

- ・乗れないというのはいつ分かるか。

→予約時点になる。

- ・家族だったら何人でも乗れるのか。

→4 人までです。

- ・観光客も利用出来るのか。

→利用は可能。

- ・もう少し大きいマイクロバスなどを将来的に導入する可能性はあるか。

→運行事業者との協議による。

- ・ 交通会議の委員ですが、交通事業者などが多く、一般の方が少ない。運営の方法など改められないか。
→ 交通会議は、国が示す委員構成に準じて構成している。公募委員の人数は、今後検討する。
- ・ 目的地エリアだが、エーコープやエスポットなどから離れているのか。
→ 駐車場やお買い物バスと競合してしまうため、提示した乗降ポイントとしている。
- ・ フリーダイヤルは、携帯電話でも通話出来るか。
→ 携帯でも利用可能なものを用意する。
- ・ 乗車する際に帰りも予約しないといけないのか。
→ 必須でない。
- ・ 目的地ポイントはどこから乗降出来るのか。
→ 目的地エリアの図のとおり 10 か所の乗降ポイントとしている。
- ・ 今後、乗降ポイントの意見を言う機会はあるのか。
→ 実証運行開始後に、アンケートなどで意見等を吸い上げる。
- ・ どのように意見を言えるのか。
→ 利用された方には、アンケートハガキを配布する。

○鍛冶屋エリア

- ・ 距離に関係ない金額設定か。
→ その通り。
- ・ 運行事業者は今後も変更しないのか。
→ 少なくとも、実証運行期間中は変更しない。
- ・ 老人会などに周知していただきたい。
→ 9月の説明会では、考慮します。
- ・ 土日に運行しない理由は。

- 町内の交通事業者が協力できる可能な範囲とした。また、買い物や通院などを目的とすると平日の運行で対応可能と考えている。
- ・片道だけの利用も可能か。
→可能。
 - ・目的地エリアで4人が別々の場所で降りる場合も良いのか。
→順に降ろします。
 - ・実証運行は実際のタクシーを使用するのか。車種を変更する可能性はあるか。
→実証運行では、タクシー車両になる。車種変更は事業者との協議が必要になる。
 - ・運行時間以外は乗車できないのか。
→予約できない。
 - ・歩行が難しい方も、ゴミステーションまで来て、帰りもゴミステーションで降ろすということか。
→乗降ポイントでの乗り降りになる。
 - ・実証運行を行って、利用者が少なかった場合はどうなるか。
→交通会議で協議する。
 - ・1年間ではなく、半年くらいで見直すことはできないか。
→実証運行の半年を目途に、一度意見を集約したい。
 - ・川の反対側は、バスが通っているから乗降ポイントが無いのか。
→バス路線があるため乗降ポイントを設定していない。
 - ・橋が通行可能になり、路線バスが通る場合はどうなるのか。
→路線バスが周回すれば、このデマンド交通は中止になることもある。
 - ・乗車定員が4名とあるが、4名以上の予約があった場合は。
→定員を超えてしまった場合はお断りになる。ただし、4台の車両中、1エリアに最大2台までを手配できる。

- ・目的地に J C H O（宮上）などが無い。
→目的地は、駅周辺としている。
- ・五郎神社からエスポットにバスが出ている。
→お買いものバスと競合しないよう調整している。
- ・買い物や通院以外の利用ができないのか。
→乗車目的は問わない。
- ・1名での予約で、結果乗り合わせた場合は。
→各自 300 円になる。
- ・他のエリアも目的地エリアや料金は同じか。
→同じです。

○福浦エリア

- ・乗降ポイントはどうやった経緯で決めたのか。
→ゴミステーションを基本に福浦エリアでは3か所とした。
- ・料金は実証運行後に変動する可能性はあるか。
→交通会議で決めていく。
- ・町の助成があつての金額か。
→町の負担はある。
- ・実証運行中は4台を確保しているので、1つのエリアで8人予約があれば2台が割り振られるので、残りの3エリアには1台ずつは行けないのか。
→その通り。
- ・9時に出発し、11時30分で帰る予定で予約をしたが、診察等が終わらなかった場合のペナルティーはあるのか。
→現段階ではペナルティーは予定していないので、予約の取り消しをお願いしたい。度重なると、本番運行に向けて検討することもある。

- ・キャンセルの場合、キャンセル料金はどうか。
→キャンセル料は予定していない。
- ・4名乗車し、目的地が異なった場合どうか。
→ルートは、運行事業者（運転手）に任せることになる。
- ・目的地エリアの乗車位置は具体になっているか。
→実証運行の開始までに決める。
- ・タクシーとデマンドタクシーと見分ける工夫をしてほしい。
→車両にステッカーを張る。
- ・4台を色分けなどできないか。
→行先ごとに車両のステッカーの色分けを検討している。
- ・デマンドという言葉が高齢者になじまない。
→表現を工夫したい。
- ・交通不便地域の解消なので、対象者は一般で高齢者などと限定しないか。
→限定しない。
- ・手帳の割引などには等級などで制限があるか。
→等級は限定しない。
- ・金融機関が地図に無い。
→表示するようにしたい。
- ・目的地エリアの降車場所に近い場所での乗降は可能か。
→できない。
- ・行きと帰りで乗降ポイントが異なってもよいか。
→問題ない。
- ・資料が無いと利用が難しいのでわかりやすくしてほしい。
→住民へ配布するチラシ等は、わかりやすくしたい。

- ・ 運行時間が一定間隔にならないのか。
→ 運行事業者が協力できる時間とし、交通会議で決まったもの。
- ・ 乗車の際に目的地を示せる地図などあればいい。
→ 予約時点で目的地も伝えいただくことになる。
- ・ 乗降ポイントは、要望出来るか。福浦エリアは3か所を前提に提案したい。
→ 期限を設けさせてもらうが、提案していただいても結構です。その際には、現行のバス路線との競合などに留意してほしい。また、最終的には交通会議で決定させてもらう。
- ・ 目的地ポイントの変更も可能か。
→ 多くの意見を伺う中で検討は可能です。ただし、実証運行は、原案で行いたい。
- ・ 運行時間について、等間隔での運行にならないか。
→ 交通会議での決定なので、実証運行を経て時間帯の見直しが必要であれば、検討してまいりたいと思います。
- ・ 夕方などは利用が無いのではないか。
→ 実証運行中のデータを蓄積し、その結果で検討することになる。
- ・ 評価基準の厳格さはどの程度か。
→ 交通会議で協議する。
- ・ 利用が芳しくない際は、再周知などお願いしたい。
→ 自然な形での利用が理想だが、状況によっては、検討したい。その際には、区会にも協力を得ることがある。
- ・ 他のエリアではこういった意見が出たのか。料金など。
→ 乗降ポイントが多く出た。料金設定の意見は無かった。
- ・ 採算重視でなく、交通弱者対策として長期的に展開してほしい。
→ 要望とする。

- ・現金ということだが、回数券などは検討しているか。
→実証運行中は、現金のみとします。
- ・実証運行で利用者が少なかったら、止めてしまうなどあるか。
→可能性はあるが、運行内容の再調整の可能性もある。交通会議で決めていく。
- ・利用方法などが複雑なので、丁寧な説明をお願いしたい。
→住民へ配布する資料では工夫したい。また、各区にもご協力していただきたい。
- ・公共施設は目的地に入れてもいいのではないか。こごめの湯など。
→駅周辺の公共施設などを設定しております。
- ・介護課が万葉荘の利用券を配布しているが、対象となっていない。
→近いポイントでの乗降となる。
- ・実証運行の結果、福浦だけ利用が低い場合、福浦だけ無くなることがありえるか。
→交通会議で決めていく。

以上。